

豊かな感性・努力の成果

活躍選手や優秀作品を表彰

町芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞 町民文芸コンクール 表彰式

平成23年度只見町教育委員会芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞表彰式と、第35回只見町民文芸コンクール表彰式が、2月26日に季の郷湯ら里で行われました。



▲各賞を受賞された皆さん「おめでとうございます」

表彰式では、齋藤修一教育長が、「夢を現するための方程式は、志・努力・感謝の3つです。このことを心にこれからも頑張ってください。皆さんの言葉で町民の方が感動し町の未来も変わる。言葉にはそんな効果もあります」とあいさつをしました。

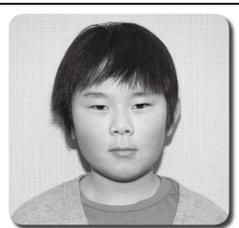
次に、芸術文化賞を受賞された只見小学校、そしてスポーツ優秀選手賞に輝いた5名と6団体が表彰されました。

続いて町民文芸コンクール4部門（作文・詩・短歌・俳句）275点の応募作品の中から審査の結果選ばれた、優秀作品の入賞者が、表彰を受けました。町民文芸コンクールの講評で、阿部貴仁文芸コンクール作文部門審査委員長は、「作品の3分の2が昨年の水害に関するもので、レベルの高い内容でした。文書を書くことで感性が磨かれる。来年以降も参加してください。すばらしい作品を期待します」と述べました。

最後に、目黒町長と五十嵐拓町議会議長がお祝いの言葉を述べました。

町民文芸コンクールの各部門で特選に輝いた作品をご紹介します。

俳句部門



小学校下学年の部 特選
只見小2年 いがらし たくとくん
つぎつぎと
バッタがはねる
草の道



中学生の部 特選
只見中1年 増田 寛さん
純粹な
夜空に浮かぶ
カシオペア



高校生の部 特選
只見高3年 若林 美緒さん
体育祭
終わる空には
鰯雲



一般の部 特選
塩ノ岐 馬場 隆介さん
只見湖の
はがね光や
冬ざるる



作文部門
小学校下学年の部

土しやが わたしのうちをのみこんだ

只見小2年 五十嵐 せなさん



七月二十九日。ふりつづいていた雨は川からあふれ、わたしのうちの一かいぶぶんをぜんぶこわしてきえました。

あの日わたしはぜんそくがひどくて、おばあちゃんとしんりようじょにいきてんてきをうけていました。きつと気あつがひくくなっているからあつかしたのだからというこでした。しんりようじょから八木沢の家に帰ろうとした時は、道ろはもう土しやくずれでとおれなくなつてしまつたので、おばあちゃんのじつ家のかめおかにとまることがになりました。

けいたいでん話でお母さんと話したら家はたいへんなことになつていました。只見川の水があふれ、家の方まで、土しやがながれこんできているというのです。もう外にげだすこともできなかつたそうです。お父さんは家にいる人が心ばいでつうこう止めになつている道をずつとおまわりして、会社から家に帰り

ついたらいつていました。雨はますますひどくなり、でんになりました。わたしはこわくてこわくてたまりませんでした。家にいるお父さん、お母さん、小さい弟二人はだいじようぶかなと心ばいで何もできません。自分だけかめおかの家にいるときに、お父さんお母さんたちはせまつてきた水からにげるために、二かいの天じように上がつてじつとしていたそうです。小さい弟たちもこわかつただろうなと思います。わたしは早くお父さんやお母さんに会いたかつたけれど、がまんするしかありませんでした。

つぎの日、あかるくなつてから外を見ると、八木沢はぜんぶ土しやにのみこまれていたそうです。家の中にもたくさん土しやが入りこんでどうしようもなくなくなつていました。お父さんお母さんたちはヘリコプターできゆうじよよされて、只見小学校のひなんじよにはこんでもらいました。わたしは、お母さんたちがたすかつたと聞いてとび上がるほどうれしかつたです。でも、道ろが通行止めになつていたので、会いたくても会いにいけません。かめおかについて夜ねても、ねむれませんでした。目をつぶる

とお父さん、お母さん、おとうとたちが水にながされていくゆめを見て、こわくなりました。昼はいつものようにごはんがのどを通りません。早く会いたくても会いたくてもたまりませんでした。五日くらいたつて、やつとお母さんたちのいる只見小学校の体いくかに会いに行くことができました。お父さんの会社の人がつれていつてくれたのです。お母さんは、ないて

「ありがとうございます。ありがとうございます。」

「ありがとうございます。ありがとうございます。」

もうわたしの家は新しくたてなおすしかないけれど、家ぞくみんながぶじで本当によかつたと思います。家にすめなくなつてから、しんせきの人や先生方、まわりの方みんながたすけてくれました。なくなつてしまつたものも多いいけれど、また家ぞくみんなでたすけ合つてがんばつていこうと思つています。

短歌部門



一般の部 **特選**
黒谷 目黒 富子さん
洪水に
僅か残れる稲株を
いとおしむがに媪は握る



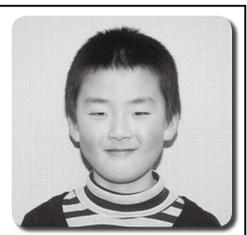
高校生の部 **特選**
只見高3年 若林 美緒さん
もう秋か
あつという間の三年間
変わらず美味しい母の弁当



中学生の部 **特選**
只見中3年 鈴木 沙和さん
「ありがとう」
普段言えない言葉ほど
思いをこめて伝えてみたい



小学校上学年の部 **特選**
只見小6年 新国 陸くん
水泳だ
バタフライでは負けられぬ
今年の夏は目指す新記録



小学校下学年の部 **特選**
只見小2年 につくに たいようくん
けん道で
はじめてきまつためん一本
心の中でばんざいをする



作文部門
小学校上学年の部

初めての豪雨

只見小6年 酒井 香菜子さん



平成二十三年七月二十九日。
その日は、朝から大雨が降っていました。雨の音は、どんどん強くなっていました。私、
「また雨か。」

と思う程度で、まさか「豪雨」になるとは、全く思っていませんでした。たぶん、只見に住む人の誰もが。

今まで、太平洋に面した沖縄や九州、四国の方などで、夏に台風が上陸した時などに、大きな水害がおきることは、新聞やテレビのニュースで知っていました。「こわいなあ。」「大変だよなあ。」と思っても、私が住んでいる只見でそのようなことになったことはなかった。で、本当の恐ろしさ、大変さなど、わかってはいませんでした。新聞やテレビの中だけで知る怖さだったのです。しかし、今年の豪雨で、自然災害の恐ろしさについて思い知らされることになりました。

その日は金曜日でした。夏休みだったけれど、次の日がバレーの大会だったため、前日も練習することになっていました。勝ち進むために、一週間みっちり

りと練習をしていたのです。私は、
「こんな大雨の中に行くのは、ぬれそうで嫌だなあ。」
などと、のんきなことを考えていました。

午後の四時三十五分頃に、家の電話が鳴りました。綾ちゃんのお母さんからでした。

「今日のバレーは、中止です。」と、言っていました。外を見ると、相変わらずの大雨でした。ちよつと不安になり、

「バレーの練習が中止になるほどの大雨が今まであったかな。でも、明日の準備はできているし、大丈夫か。」

と思いました。でも、その直後です。只見町の無線放送で、
「大雨で、かん水のおそれがあるため、沖住宅付近のみなさんは、只見小学校へ避難してください。」

というような内容でした。今まで聞いたこともないような放送だったのでびっくりしました。私は思わず、また、外を見ました。今まで、空の方ばかり見ていましたが、道路の方を見てみると、ほりの水が満杯に

なってあふれ出していることに気づきました。まさしく、テレビでみた光景でした。道路に水がたまっていたって、それがだんだん増えて、家の玄関まで入ってくるまでに時間はかかりませんでした。何だか、状況がうまく飲み込めませんでした。考えている暇もなく、いつの間にか、水は玄関から家の中へと入ってきました。

「香菜子、手伝って。」

とお母さんの声がありました。そして私は、兄とお母さんとで一階にあるテレビや電話など、水没したら困るような物を二階へと運びました。あまりの水の増え方に、お母さんは一階はすぐに水浸しになると考えたのだと思います。

町の放送で、

「地区の集会所へ避難してください。」

と入りました。すぐに私達三人は、集会所へ向かいました。普段の道を歩いていくと、水がひざ上まであって通れなかった。で、遠回りをして行きました。やっと集会所へ着き少し安心しました。早く友達に会って話したくなりませんでした。けれど、中には誰もいませんでした。一気に私は不安になりました。お母さんは、

「しょうがない、ここにいよう。きつと、すぐにみんな集まるよ。」

と言いました。でも、私は、三人でいることが不安で仕方なかった。で、

「只見小学校なら、みんないるよ。只見小学校へ避難しよう。」と、言いました。

辺りはもう暗くなっていました。道路もほりもよく見えませんでした。ついでに雷も鳴り出して、もう泣き出しそうでした。ちゃんと只見小学校へたどり着けるかも不安でなりません。落ち着こうと思っても、心が全く言うことを聞いてくれず、心臓の音は大きくなるばかりでした。

ゆっくりゆっくり歩いて、ようやく只見小学校へ着きました。中に入ったら、友達が走ってきて、

「大丈夫だった。」

と聞いてくれました。心配そうな顔をしていましたが、私は本当にホッとしました。ようやく、もう大丈夫だと思えました。

自然災害は、この先どうなるのか全く予想が付きません。自分の都合のいいように変えられるものでもありません。ただじつと待つことの不安と恐怖を、私は初めて知りました。この体験で、自然と人間は、「和をもつて尊しとなす。」人間はもつと、自然の恐ろしさを理解すべきだと思いました。



作文部門
中学生の部

小学校の夢は大きい！

只見中一年 星 一穂さん



「一度持った考え方は、なかなか変わらない。」この言葉に、私は自分の将来の夢の事が頭に浮かびました。この言葉は、先日あった学校の親子講演会での場亮先生が話された言葉です。なぜ私がこの言葉が頭に浮かんだのか、それは、私は一歳の時にやけどをして入院したのがきっかけで、看護師になりたいと思うようになりました。

小学校五年生の時に将来の夢の考えが少し揺れてきました。理由は、四年生の時の担任の先生が、私達のクラスを一気に変えてくれて、私達のクラスにはなくてはならない人を感じたのです。十五人と先生の、「絆」が深くなっていくのがわかったからです。そのときの担任の先生にアコがれて、もう一つ学校の先生に…という考えも出してきました。

でも看護師の夢を決定付けたのは、三月十一日の東日本大震災でした。毎日、テレビであの悲さんの映像が流れるたびに、胸が痛みました。そして、私は仙台で看護師をしている母方の

親せきがすごく心配になり、母に連絡を取ってくれるよう頼みました。母はすぐに連絡を入れてみましたが、なかなか繋がらず無事であるのをずっと祈っていました。何時間かしてやっと母の所に、

「住んでいる所はぐちゃぐちゃだけど、無事だから。」と連絡が来ました。そのあとの言葉に私と母は心を打たれました。

「私は看護師だから、住むところがぐちゃぐちゃだけど、患者さんを看なくちゃいけないから帰れない。」

その言葉を聞いて、自分の夢だと小さい時から言っていた「看護師」の言葉の大きさを改めて実感しました。自分の住んでいるところがダメになっても、自分の仕事を第一に、人の命を第一に考えて、その場に残った看護師の親せきに、私の夢の大きさを教えてもらった気がしました。

そして、的場先生の講演を聞いて、「自分の人生に責任を持つ」「考え方を自分で選たくす

る」の言葉が今の自分に、すごく響きました。最初は母に看護師になるようすすめられ、私と同じようにやけどをした野口英世の伝記を読み医療への道へ進む事を夢として抱いていましたが、その震災での親せきの言葉を聞いて、「考え方を自分で選たくする」という的場先生の言葉が私のこれからの人生を自分で選たくする事を教えてくれました。

そしてもう一つ。小学生の時から始めていたバレーボールです。小学生の時に全会津で一番のセッターになりたい。全会津で一番のチームになりたいと思っていました。六年最後の大会で決勝戦で負けてしまい、全会津で一位になるという夢はかないませんでした。中学校でもバレーボール部に入学して、やはり全会津で優勝するという夢を必ずかなえたいと思っていいます。そこで私に今見直さないといいけない事。それは「的場先生の言葉にあった、「顔の表情、自分のオーラに責任を持つ事」でした。私は小学校の時に指導を

してもらっていた母に、「いつもミスを顔に出すな。セッターは余裕をもっていないとみんなが不安になってしまう。」

と言われていた事に似ていると思いました。という事は、セッターである私がコートで笑っていたり、声かけをしていないとチームがまとまらなくなり、バラバラになってしまうんだ！と気づかされました。どんなボールでもしっかりとアタッカーにトスをあげる、あげられるんだという責任を持ってセッターというポジションを頑張つて、小学生の時にかなえられなかった全会津で一位になる事、全会津いや県で一番のセッターになるという夢を必ずかなえたいと思えます。「勝者は常にあきらめない」その言葉と、「小学生の頃の夢は大きい」という的場先生の言葉を決して忘れることなく、その言葉を信じて夢実現に向けて頑張つていきたいと思えます。



第35回

おめでとう

町民文芸コンクール入賞者

(敬称略)

【作文部門】

■小学校下学年の部

- ◎特選 五十嵐せな(只見小2年)
- ▽入選 につくたいよう(只見小2年)
- 酒井 咲星(只見小3年)
- ▽佳作 さかいはるく(只見小1年)
- おのゆづき(只見小2年)
- ばばこう大(朝日小1年)

■小学校上学年の部

- ◎特選 酒井香菜子(只見小6年)
- ▽入選 菊地 美結(明和小6年)
- 飯塚健太郎(明和小6年)
- ▽佳作 酒井 康志(只見小5年)
- 大塚 琴美(只見小5年)
- 星 鈴果(朝日小5年)

■中学生の部

- ◎特選 星 一穂(只見中1年)
- ▽入選 吉津 千晶(只見中2年)
- ▽佳作 馬場 真樹(只見中1年)

【詩部門】

■小学校下学年の部

- ▽入選 すずきりょう(只見小2年)
- きつかれん(只見小2年)
- ▽佳作 につくたいよう(只見小2年)

■小学校上学年の部

- ▽入選 佐藤 有佳(只見小6年)
- 渡部 倫(朝日小4年)
- ▽佳作 鈴木 道也(只見小6年)

■中学生の部

- ▽入選 飯塚 奈央(只見中3年)
- ▽佳作 柳下 一貴(只見中3年)

■高校生の部

- ▽入選 大竹 さち(只見高1年)
- 五十嵐美希(只見高2年)
- ▽佳作 渡部 夏芽(只見高1年)
- 渡部 美咲(只見高1年)

【短歌部門】

■小学校下学年の部

- ◎特選 につくたいよう(只見小2年)
- ▽入選 きつかれん(只見小2年)
- ▽佳作 すずきりょう(只見小2年)
- 関本 泉(明和小3年)

■小学校上学年の部

- ◎特選 新国 陸(只見小6年)
- ▽入選 山内 綾(只見小6年)
- 八久保洋介(朝日小6年)
- ▽佳作 五十嵐夏希(只見小6年)
- 酒井香菜子(只見小6年)

■中学生の部

- ◎特選 鈴木 沙和(只見中3年)
- ▽入選 馬場 光弘(只見中3年)
- 伊藤 舜(只見中1年)
- ▽佳作 齋藤 咲希(只見中1年)

■高校生の部

- ◎特選 若林 美緒(只見高3年)
- ▽入選 浅井 智美(只見高3年)
- ▽佳作 五十嵐美希(只見高2年)

■一般の部

- 大竹友佳莉(只見高2年)
- ◎特選 目黒 富子(黒谷)
- ▽入選 五十嵐邦男(只見)
- 齋藤チヒロ(亀岡)
- ▽佳作 渡部 ミヤ(小川)
- 三瓶タカキ(黒谷)

【俳句部門】

■小学校下学年の部

- ◎特選 いがらしたくと(只見小2年)
- ▽入選 はそめしゅうと(只見小2年)
- すずきりょう(只見小2年)
- あさのれい(明和小1年)
- ▽佳作 鈴木 舞花(只見小3年)
- 馬場 真子(明和小3年)

■小学校上学年の部

- ▽入選 鈴木 遙大(只見小6年)
- 渡部 湜太(朝日小6年)
- ▽佳作 小野 朝陽(只見小5年)
- 新国 愛菜(只見小5年)
- 鈴木 拓真(朝日小6年)

■中学生の部

- ◎特選 増田 寛(只見中1年)
- ▽入選 馬場那央也(只見中1年)
- 目黒 百華(只見中1年)
- 酒井 りな(只見中2年)
- 馬場 康平(只見中3年)
- ▽佳作 原田 珠里(只見中1年)
- 吉田 栞(只見中2年)
- 鳥谷 拓実(只見中2年)
- 五十嵐圭祐(只見中2年)

■高校生の部

- ◎特選 若林 美緒(只見高3年)
- ▽入選 目黒美沙希(只見高1年)
- 目黒 岳(只見高2年)
- 山井 雅美(只見高3年)
- 平野 幸太(只見高3年)
- ▽佳作 菅家 将志(只見高1年)
- 齋藤 雄(只見高2年)
- 菅家祐有奈(只見高2年)
- 渡部 安菜(西郷養護学校2年)

■一般の部

- ◎特選 馬場 隆介(塩ノ岐)
- ▽入選 五十嵐夏美(福井)
- 新国 洋子(只見)
- ▽佳作 三瓶タカキ(黒谷)
- 渡部 直江(福井)
- 新国由紀子(只見)



▲五十嵐せなさん(小学校下学年の部・作文特選)

おめでとう

平成23年度 芸術文化賞 スポーツ優秀選手賞受賞者

(敬称略)



▲受賞者の皆さん「おめでとうございます」

【芸術文化賞受賞者】

◎只見小学校

(代表者…PTA会長 新國誠)

Ⅱ第44回花いっぱい

コンクール県知事賞

【スポーツ優秀選手賞受賞者】

◎目黒郷(只見中3年)

Ⅱ第54回福島県中学校体育大会
スキー競技大会男子回転ほか第
2位

◎田代芽衣(只見高2年)

Ⅱ第61回全会津総合体育大会陸
上競技大会ほか女子やり投げ第
1位

◎齋藤未来(只見高2年)

Ⅱ第31回全会津秋季陸上競技大
会女子5kmW第1位

◎川合祥太郎(聖光学院高2年)

Ⅱ第93回全国高等学校野球選手
権福島大会ほか硬式野球第1位

◎新国健道(只見町スキーチーム)

Ⅱ第64回福島県総合体育大会ス
キー競技大会大回転成年男子B
第1位

◎只見剣道スポーツ少年団

(齋藤結・吉津隼馬・渡部春輝)
Ⅱ第44回全会津少年剣道大会男

子団体二部第1位

◎只見中学校スポーツ少年団

(野球) (目黒郷・新国尚侑・馬
場光弘・渡部春樹・渡辺賢亮・
馬場康平・岩淵秀斗・小椋翔・
河原田亮太・柳下一貴・山田祐
斗・黒田竜二・目黒健太・一条
英昭・服部勇・八久保哲平・飯
塚駿・渡部勇志・目黒大成・五
十嵐圭祐)

Ⅱ紅獅子旗争奪第34回福島県少
年野球選手権会津大会軟式野球
第1位

◎只見中学校スポーツ少年団

(野球) (一条英昭・岩淵秀斗・
八久保哲平・五十嵐圭祐・飯塚
駿・五十嵐高弥・服部勇・渡部
勇志・加藤正靖・増田寛・目黒翼・
高木竹徳・吉津悠真・新国拓真・
馬場那央也・伊藤舜・目黒大成・
渡部萌生・放上浩太・梁取陸・
目黒誠也)

Ⅱ第9回東北少年軟式野球新人
会津大会軟式野球第1位

◎只見中学校スキー部男子(馬
場康平・一条英昭・馬場那央也・
五十嵐高弥)

Ⅱ第54回福島県中学校体育大会
スキー競技大会クロスカントリ
ーリレー第3位

◎只見中学校スキー部女子(栗
城涼花・山内結・目黒百華)

Ⅱ第54回福島県中学校体育大会
スキー競技大会クロスカントリ
ーリレー第2位

◎只見高等学校女子卓球部

(新国真理恵・鈴木亜美・五十嵐
花奈恵・長谷部千晶・吉津真奈・
鈴木ひかり・島谷裕希・目黒美
沙希)
Ⅱ第57回福島県高等学校体育大
会卓球競技会津地区大会女子団
体第1位

各賞の表彰基準

芸術文化賞の表彰基準は、全県のコンクール等で最上位、東北地方のコンクール等で上位3位相当以内、全国のコンクール等で上位5位相当以内です。

スポーツ優秀選手賞の表彰基準は、全会津の大会で1位、全県の大会で3位以内、東北地方およびそれに準ずる大会で6位以内、全国の大会で10位以内です。